

主権者教育（中学生・高校生の議会傍聴）

主権者教育の一環として、稲田中学校、友部東特別支援学校（9月13日）、日本ウェルネス高等学校、笠間高校（9月17日）、友部特別支援学校（9月18日）の計5校の生徒が市議会を傍聴しました。

— いただいたご意見の一部を紹介します —

- 実際に傍聴して地方自治の仕組みに興味を持ったので、これから積極的に学習していこうと思いました。
- 自分の住んでいる市についての話だったので、自分の意見も考えながら双方の意見や根拠を比べて整理しながら聞けました。入り口横に車いす用のエレベーターもあり、体が不自由な人にも十分に配慮されていました。
- 人生で一度も市議会をみたことがなかったので、なんとなくのイメージしかありませんでしたが、行ってみるとAI字幕や多くのカメラが設置されていました。見学できてよかったです。
- 迫力がありました。笠間市の課題や現状などが見えてきました。
- 全体を通して非常に見やすく聴き取りやすかったです。議会の流れが分かり面白かったです。
- 笠間市をよくするためにどうしたらいいのかを質問者、答弁者で話していましたが、身近なことを話していることに驚きました。
- 自分たちが学校で調べていたことが議会でも話題になっていて驚きました。
- ネットでも配信されているので、時間があるときに見てみたいくなりました。
- 話を聞いてみて、市民やまち、県のことをよく考えていてすごいと思いました。
- 話が難しかったです。
- 災害の対策や避難所、それ以外の対策など、たくさんの設備や対策が知れて安心できました。

